

報道関係者各位

2026 年 8 月 28 日
SWCC株式会社

日本初、特別高電圧用ジョイントソリューション 北陸電力送配電株式会社にて戦略製品 SICONEX®「T 形終端接続部」×「e-Cable®」が採用 ～施工人員不足に対応し、工期短縮・施工品質の安定化に貢献～

SWCC株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 CEO 社長執行役員：小又哲夫、以下「当社」）は、中期経営計画「Transformation for Growth SWCC 2030」の成長戦略の一環として、高電圧対応製品のラインナップ拡充を進めるとともに、電力接続工事に向けたソリューション提案を強化しています。

このたび、日本初となる 154kV 対応の特別高電圧用ジョイントソリューションが北陸電力送配電株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：塚崎勝訓）の加賀変電所に採用され、2026 年 6 月より運転が開始されましたので、お知らせいたします。



左：北陸電力送配電(株)加賀変電所に据え付けられる e-Cable®、右：154kV T 形終端接続部の据付状況

■特別高電圧用ジョイントソリューションとは

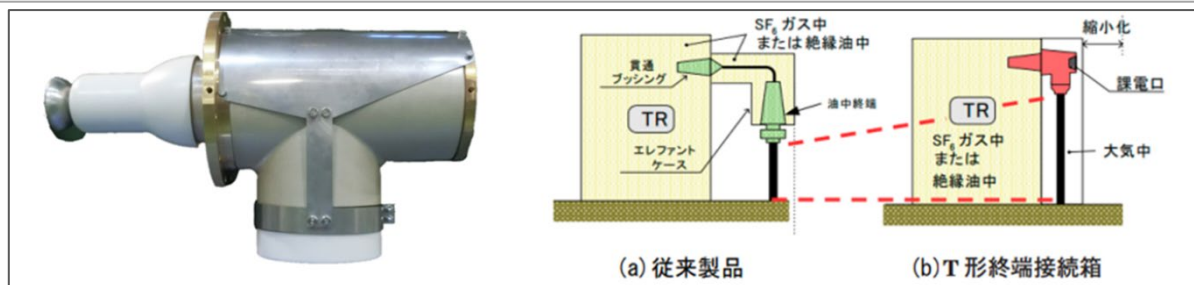
昨今、電力接続工事では、施工人員不足や技能者の高齢化が、深刻な課題となっています。当社は、極めて高い技術力と信頼性が求められる高電圧領域において、戦略製品 SICONEX®（サイコネックス）の「T 形終端接続部」の 154kV 対応製品を開発しました。さらに、接続工事の簡易化を実現する「e-Cable®（イーケーブル）」と、二次元コードによるトレーサビリティ機能を組み合わせることで、154kV 特別高電圧用ジョイントソリューションとして提供を開始しました。本ソリューションは、ケーブル端末加工から電力機器との接続、保守・管理までを一体的に支援するもので、電力接続工事における課題の解決に貢献します。

■本ソリューションの特長

本ソリューションは、特別高電圧(154kV)領域の施工現場において、従来工法と比べて短工期かつ高品質な施工を実現します。また、電力設備に求められる接続信頼性を確保するとともに、コンパクトな構造により設備レイアウトの自由度向上と省スペース化に貢献します。

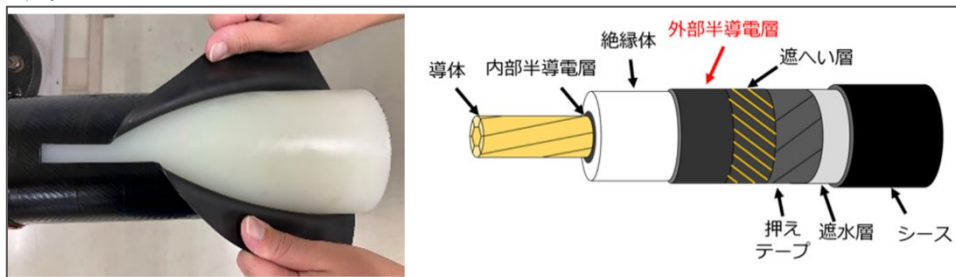
T 形終端接続部：電力ケーブルと電力機器を安全に接続するための部品で、独自のプラグイン構造により、施工工程の簡素化と作業時間の短縮を実現します。また、万が一ケーブルにトラブルが発生した場合でも、課電口に移動用ケーブルを接続して送電することが可能となり、復旧期間の大幅な短縮が可能です。

（154kV での当社試算：従来約 1 カ月 → 約 5 日 ※移動用ケーブルを事前配備した場合）



左: 154kV T形終端接続部の製品写真、右: 従来製品との比較図

e-Cable®: 専用工具を使用することで、外部半導電層をシート状に容易に剥離できる構造を採用しています。これにより端末加工工程を大幅に簡略化し、施工品質のばらつき低減に加え、技能者の育成期間短縮にも貢献します。



左: e-Cable®の剥離工程の写真、右: e-Cable®の模式図

二次元コード付帯によるトレーサビリティ: 施工記録や製品管理の効率化を図り、保守や管理時の信頼性向上に寄与します。



二次元コード付き電力ケーブルの印字状態

当社は高電圧対応製品の拡充を電力インフラ事業の成長ドライバーのひとつと位置付け、国内変電市場における SICONEX®のデファクトスタンダード化を目指すとともに、ソリューション提案の高度化を通じて複雑化する社会課題の解決に貢献してまいります。

■ SWCC株式会社について

1936年の設立以来、総合電線メーカーとして、電気や通信が安心して使える社会を支え続けています。エネルギー・インフラと通信・コンポーネントの2つの事業をコア領域とし、新たな事業領域の拡大にも挑戦を続けることで、モノづくりを起点にして社会課題に向き合うソリューション提案型の価値創造企業へと進化しています。今年、創立90周年を迎えたSWCCは、今後もグローバルに挑戦を続ける100年企業に向けて「変革」と「成長」を続けてまいります。

詳細については、[SWCCのウェブサイト](https://www.swcc-g.com)をご参照ください。

*154kV対応のSICONEX®「T形終端接続部」と「e-Cable®」を組み合わせたソリューションとして日本初です

【本件に関するお問い合わせ先】
SWCC株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報グループ
inq-sonota@swcc-g.com